



富山アラート発令！ 新型コロナウイルス感染症

令和2年8月12日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第32週分・8月3日～8月9日)

《インフォメーション》

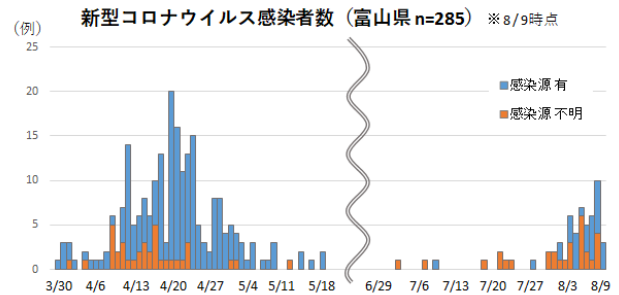
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月9日時点で48,907例となりました。全国的には新規感染者数が、31週では8,521例、32週では9,604例と急速なペースで増加しています。

県内では、4月以来4事例目のクラスター(集団感染)がカラオケを伴う飲食店で発生しました。また、8月8日には、1日10例の新規感染者が確認され、32週の新規感染者は41例でした。31週(9人)と比較して約5倍の増加となり、累積感染者数は8月9日時点で285例となりました(上図)。7月以降、県外での感染や家庭内感染例が多いものの、41例中16例(39%)は感染経路不明です。このような状況から8月11日に富山県全域に新型コロナウイルス感染拡大警報(富山アラート)が発令されました。お盆休み期間中は、感染者が多く発生している地域との往来は、特に緊要度の高いものを除き自粛することが求められています。

今後も、人との距離を保つことで接触機会を減らすこと、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生、3密の回避(①密閉、②密集、③密接)、クラスター発生が確認されているような施設への立ち入りを控える等の感染対策を心がけることが重要です。

新型コロナウイルス感染症の初期症状は発熱、咽頭痛、咳など通常のかぜ症状と同様です。しかし、かぜと比較して、**体のだるさが強く、その症状が長く続きます。また、症例によっては肺炎を起こし重症化します。**発熱等のかぜ症状がある方は自宅で療養・待機してください。**症状が続く場合は帰国者・接触者相談センターに相談の上、指定された医療機関を受診**しましょう。強いだるさ、息苦しさ、高熱(38.0℃以上)等があり肺炎が疑われる方、高齢者や基礎疾患等がある方は重症化することがあるため、早めにご相談ください。



《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 41件
- 二類感染症 結核 1件(30歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 急性脳炎 1件(第31週診断分:40歳代、男性)
- 梅毒 1件(第31週診断分:50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.03(↓)	3.97
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66(↓)	0.69
3位	突発性発しん	0.28(↓)	0.34
4位	手足口病	0.21(↑)	0.14
5位	マイコプラズマ肺炎	0.20(→)	0.20
6位	咽頭結膜熱	0.17(↓)	0.31
	ヘルパンギーナ	0.17(↑)	0.03

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第32週 令和2年8月3日～令和2年8月9日）

分類	疾患	今週報告分（第32週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	12	2	9		18	41	18	8	33	8	218	285	
二類感染症	結核			1			1	8	2	22	8	26	66	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									6		8	14	
四類感染症	E型肝炎							2					2	
	A型肝炎							9				1	10	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症					1	1	1		10	1	12	24	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	2	3	
	ウイルス性肝炎											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8	
	急性脳炎							2		1		1	4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9	
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7	
	梅毒							2		3		11	16	
	破傷風											2	2	
	百日咳											24	26	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190	3,564	
	RSウイルス感染症					1	1	2	5	26	4	37	74	
	咽頭結膜熱	1		3		1	5	74	56	101	8	74	313	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25		0.38		0.10	0.17							
	感染性胃腸炎	19	14	15	4	36	88	794	458	579	248	1,669	3,748	
	水痘	4.75	4.67	1.88	1.00	3.60	3.03							
	手足口病			4			4	29	30	58	16	93	226	
				0.50			0.14							
	伝染性紅斑			2	1	3	6	18	1	19	7	47	92	
				0.25	0.25	0.30	0.21							
	伝染性紅斑							9	26	30		162	227	
	突発性発しん	1		4		3	8	23	19	129	43	105	319	
		0.25		0.50		0.30	0.28							
	ヘルパンギーナ	2	1	2			5	50	1	12	2	5	70	
		0.50	0.33	0.25			0.17							
	流行性耳下腺炎									5	5	4	12	26
	流行性角結膜炎	1					1	1	5	8	2		16	
	1.00					0.14								
細菌性髄膜炎									1			1		
無菌性髄膜炎							1			1	5	7		
マイコプラズマ肺炎			1			1	1	7	19	16	9	52		
			1.00			0.20								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	2		4		
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	74	53	202	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年7月分）

		7月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		3	6	1	1	15		29	46
				1.00		0.75	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1		1	5	7		4	1	5	25	35
			1.00		1.00	1.25	0.70						
	尖圭コンジローマ									1		4	5
	淋菌感染症	1					1	1		3		10	14
		1.00					0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	2	2	6	11	10	6	17	11	20	64
			1.00	2.00	2.00	6.00	2.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1		6			7

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。